



黒住宗忠講話三十箇条

特44

817

175  
96

013970-000-9

特44-817

黒住宗忠講話三十箇条

星島 良平/著

M9

ABB-0217





星嶋良平著

黑住宗忠講話三十箇條

誠を友に友を誠とす  
○ 誠を友に友を誠とす

陽氣を運ぶ  
○ 陽氣を運ぶ

自他を忘る  
○ 自他を忘る

徳を以て徳を以て  
○ 徳を以て徳を以て

勇を以て勇を以て  
○ 勇を以て勇を以て

仁を以て仁を以て  
○ 仁を以て仁を以て

操を以て操を以て  
○ 操を以て操を以て

情を以て情を以て  
○ 情を以て情を以て

徳を以て徳を以て  
○ 徳を以て徳を以て

十四

勇まきき○中野成道○善念

仁成徳○是年九祝礼○元徳

撫作生大切勤○毒子成徳

○悟心成志徳○人智成志天工

任せよ○取越し善房成志よ○

徳福を喜道○念を成志る○善

今成志作家○何子成志

上成志如徳○難あり難者○

後成志成志道○成志成志成志

○邪陽成志成志○心の角成志

○急成志成志陽氣成志及よ○後

人の死に作る子○何の事か

上毛に如流○難あり難あり○

陰毒致毒○此方心を傷つた

○邪陽に沈むる○心の角に如流

○急に法陽氣を及ぶ○後

心息をせよ○不足に起る身

生る者如く○毒物に氣を

又日持せよ○延病を絶つ

らぬ毒氣に何れぬ毒○活物を

名書物と云ふ人言ふ毒を

致す事と云ふ神の法に在る

おちりたまひ

中... 毎朝... 受...

又... 日... 延... 籠... 出

ら... 何... ぬ... 活... 物

鳥... 物... 子... 人... 言... 勿... 満... 多... 言

執... 事... 王... 照... 神... の... 出... 神... 座... 二... 六

市... 鼻... 口... 通... 以... 家... 生... 疾... 心

か... と... 難... 有... く... 苦... 以... り... 七... 年... 一... ぬ... 〇

速... 魔... 教... 七... 人... の... 公... 之... 速... 時... 是

度... は... け... 之... 之... 正... 魔... の... よ... 集... 入

く... の... 因... 采... た... 之... 故... 以... 油... 以... 爲

め... 教

宗... 忠... の... 罪... 上... 僊... 五... 十... 後... 予... 疾... 以... 氣... 積... の... 所

「年々鼻と目より通じし方生疾は

かんと難有く言ひて是等女ら○

速く魔薬よて人の心連す時迄

度はけしき正魔より集り

くの因来たる故に油以て

め給

宗忠の御上僊より後予疾以氣轉のり  
時々心計の海話も毎に所由詞を授る  
ゆりきりく口書く由難を記せしむる  
歴へて志せんはこれから家内やらまて  
を蒙せしむるの十二を著し相分掲げ  
付くを云ふ

星島良平謹誌

島山縣信前正通郡中津村

士族 著者 星島良平

島山縣信前正通郡中津村

士族 出版人 赤城惣三郎

明治九年十一月出版

